

(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日: 令和6年5月29日

事業者名: 株式会社桑名屋

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
				指標	目標
環境	自社内の事務処理関連の電子化や積極的にWEB受発注システムを活用したペーパーレス化を推進するとともに、社内設備のLED化やエアコンの設定温度のルール策定等、全社を通して省エネに対する意識向上に向けた啓蒙活動を継続的に行っています。	⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに、⑨産業と技術革新の基盤をつくろう	R5年度弊社から発行する請求書の60%程度、納品伝票の15%程度を電子化しました。社内電灯の90%をLED化しました。	指標	納品伝票の電子化
				目標	2030年度までにR5年度比で35%以上の電子化を達成
社会	当社のお客様である小売業者の売上拡大や食品ロスの削減に貢献するため、在庫管理や販売管理の徹底により、地域差のある商品の売れ筋情報を基に最適な提案を実施しています。また、当社はPB商品や健康や環境に配慮した商品の開発にも積極的に取り組んでおり、老若男女から愛される”お菓子”の提案に努めています。最適且つ低コストの物流を実現するために、メーカー様にもご協力いただきコスト削減を目指します。	③すべての人に健康と福祉を、⑫つくる責任 つかう責任	R5年度賞味期限切れ廃棄商品の仕入れ額に対しての廃棄率0.01%以下	指標	賞味期限切れ廃棄商品
				目標	2030年度までに0にします。
経済	女性が元気に働ける環境づくりに尽力するとともに、地元貢献する新規事業の検討も視野に入れていくことで、皆が能力を発揮できる企業・社会に必要なとされる存在価値の高い企業を目指します。	⑤ジェンダー平等を実現しよう、⑧働きがいも経済成長も、⑫つくる責任 つかう責任	女性の採用拡大（R5年度従業員半数以上が女性）、女性管理職登用促進（R5年度女性管理職1名）を進めます。ノー残業の推進により毎月の時間外勤務を、R5年度平均10時間程度に収めました。地域の活性化、食品ロスの削減を目的とした自社倉庫でのお菓子の販売会を行っています。	指標	女性管理職登用 育休、産休制度の確立と推進 お菓子の販売会来場者数
				目標	2030年度までに女性管理職を3名増員 2030年度までに育休、産休制度の実績1名以上 2030年度までに毎回のお菓子の販売会来場者数150組以上
ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている（PDCAサイクル等）。 <具体的な内容を記載> 重点項目について社内共有を実施 各部署で重点項目に該当する部分に担当者を設け進捗管理を行っています。合わせて部署間での連絡を密に行い進捗状況を把握するように努めています。			
	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 自社ホームページにSDGsの取り組みページを設けています。 https://kuwanaya.co.jp/sdgs/			